

青森南高校 J R C ・ボランティア部と有志では、7月27日（日）に行われた「世界遺産登録4周年記念」こまきの縄文まつりにブースを出させていただきました。



狩猟ブースでは、縄文時代に実際に生息していた動物を調べて獲物に見立てた的を作り、縄でしとめるイメージで輪投げゲームを行いました。子どもたちが怪我をしないようにと、輪を新聞紙とガムテープで作っていました。



漁労ブースでは、縄文時代に実際に生息していた魚貝類について調べて獲物をつくっていました。（なぜかハズレの人面魚もありました笑）釣り竿をどうしようか試行錯誤していましたが、100円ショップで売っている「猫じゃらし」を改良して、磁石をきちんと縫い込んで工夫していました。

採集ブースでは、縄文時代にあったどんぐりやクルミ、松ぼっくりを利用した木の実アートを行いました。松は縄文時代から生息していたようですが、東北地方に松が広まったのはもっとずっと後の時代であることを調べていました。



土偶ブースでは、粘土や土で土偶をつくと手洗い場が必要だよね、と議論を重ね「折り紙で遮光器土偶を折ろう！」というコーナーを設置しました。何度も練習を重ねて YouTube を見なくても折れるようにして臨んでいました。

宝石ブースでは、小牧野遺跡といえば「環状列石」だよね！ということで石を使ったゲームを考えていました。石の皿移しや、写真と同じ石探しなど石を使ったゲームを用意して子どもたちとふれあっていました。



読み聞かせブースでは、本校JRC・ボランティア部が毎週青森大学の秋田コーチの指導のもと練習している成果を発揮しようと、縄文にまつわる絵本の読み聞かせを行いました。青森中央高校読み聞かせサークルの2人も助っ人に来てくれて、いろいろな絵本の読み聞かせをすることができました。



どのブースも高校生が考えた縄文時代の生活・遊びを通して縄文時代により一層興味をもっていただけることを目的に南高生が考えました。縄文服をお借りすることができたので、生徒たちは自宅から紐を持ってきて組紐作りをおこない、雰囲気と気分を上げていました！来場された子どもたちと一緒に本気になって遊んでいる高校生が、来場者の歩義者の方や近隣住民の大人の方とも積極的にコミュニケーションをとっている様子も見られ、1日でしたが生徒の成長にもつながったのではないかと思います。

縄文の学び舎・小牧野館の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。